

令和6年度「教育担当者研修」研修内容

【会場】広島会場：広島県看護協会会館

福山会場：県民文化センターふくやま

【日程】

| 開催日時 | 研修テーマ | 時間数 | ねらい | 研修内容 | 研修方法 | 講師 | |
|---------------------------|----------------------|------|---|--|----------------|---|--|
| 1日目 9:30 16:00 | 1 新人看護職員研修と教育担当者の役割 | 5.5 | 1) 看護継続教育の全体像を理解し、新人教育から現任者教育までの系統的な教育の重要性を学ぶ。 | (1) カリキュラムについて (2) 新人看護職員を支える組織体制 | 講義 | 広島大学病院 副看護部長 満中 一恵 | |
| | | | 2) 新人看護職員の現状と課題を理解できる。 | (1) 新人看護職員をめぐる現状と課題 | | | |
| | | | 3) 新人看護職員研修ガイドラインの概要が理解できる。 | (1) 新人看護職員研修ガイドラインについて | | | |
| | | | 4) 教育担当者としての役割と能力について理解できる。 | (1) 新人看護職員研修における教育担当者の役割(実地指導者の育成・支援も含む) | | | |
| | 2 教育に関する知識 | | 1) 成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。 | (1) カリキュラムについて (2) 成人学習者の特徴と教育方法 | | | |
| | | | 2) 教育評価とフィードバックを理解し、教育的関わり方の示唆を得る。 | (1) 教育評価とフィードバック | | | |
| | 3 到達目標の理解と設定 | | 1) 新人看護職員に必要な研修内容を理解できる。 | (1) 新人看護職員研修と臨床実践能力の構造 | | | |
| | | | 2) 自施設、部署内の理念と人材育成体制が理解できる。 | (1) 組織の理念と人材育成の考え方 | | | |
| | | | 3) 新人看護職員研修における到達目標を理解し、設定できる。 | (1) 新人看護職員研修の到達目標の設定 | | | |
| | | | 4) 研修終了時の評価、実践の場での事後評価と活用について理解できる。 | (1) 研修評価と評価の活用 | | | |
| 2日目 9:30 16:00 | 4 新人看護職員教育の課題と解決策の検討 | 5.5 | 1) 実践報告、自己のレポート、演習を通して部署内の新人教育の課題を明確にすることができます。 | (1) 実践報告:実地指導者、新人看護職員への教育、精神的支援の取組みと結果 (2) レポート:自己の所属する部署内の新人教育計画と課題 (3) 演習:新人看護職員教育の課題の明確化と解決策の検討 | 講義 演習 発表 | 広島大学病院 副看護部長 満中 一恵 実践報告者 2名 | |
| | | | 2) 成果が上がった計画や方法を共有することで、自部署に適した教育計画に活用できる情報を得る。 | (1) 各期における到達目標の設定 (2) 学習内容・方法の設定 (3) 評価方法 | | | |
| | 5 新人看護職員研修計画の立案と評価 | | 1) 研修計画の立案プロセスを学ぶ。 | (1) 集合教育とOJT等の活用 (2) 実地指導者の育成・支援・連携のあり方 | 講義 | | |
| | | | 2) 集合教育とOJTの連動および実地指導者との連携を理解する。 | (1) 集合教育とOJT等の活用 (2) 実地指導者の育成・支援・連携のあり方 | | | |
| 3日目 9:30 16:00 | 6 新人看護職員研修計画立案の実際 | 5.5 | 1) 部署の特殊性に応じた指導体制を考えることができる。 | (1) 部署の特殊性を考慮した指導体制 | 演習 発表 | 広島大学病院 副看護部長 満中 一恵 助言者 広島 4名 福山 1名 | |
| | | | 2) 部署の特殊性に応じた研修計画と運用方法を理解できる。 | (1) 部署の特殊性を考慮した研修計画 (2) 評価計画とフィードバックのあり方 | | | |
| 計 | | 16.5 | | | | | |